

ビール・発泡酒製造者向けオンラインセミナーのご案内

ホップの世界大手 BarthHaas グループで長年ホップの品質管理等に携わられている Reinhold Kugel 博士ら（別紙）の来日に際し、下記の通り酒類総合研究所でご講演いただきます。

世界のホップ及びビール市場の現状、従来のホップ加工製品及び新商品とビール製造における使用及び今後の展望について、日本のビールを知悉した、業界にとって長年の知己である博士らならではの現状に即した深い技術的なご見識を下記の通りオンライン配信いたします。

ビール・発泡酒製造に携わる方々はどうぞご参加ください。

記

1 日時

令和6年4月19日(金) 15:00~16:00

2 演題

世界のホップ及びビール市場の現状と、新しいホップ加工製品の紹介

3 費用

無料

4 参加方法等

(1) 参加対象

ビール・発泡酒製造に関わる技術者

(2) 接続方法

予約は不要です。以下の WebEX サイトからご参加ください。

<https://nrrib.webex.com/nrrib/j.php?MTID=mfb1c7183cef715ce0e2683519fc99b64>

ミーティング番号：2518 900 7564 パスワード：2JgEW53bXue

14:30 から接続できます。接続の際には、会社名・お名前を入力ください。事務局にて確認し順次入室に設定いたします。通信品質確保のためカメラ・マイクは OFF に設定ください。

(3) 進行等

講演はスライドを含め英語で行います。スライド毎に座長が簡潔に日本語の説明を行います。質疑は日本語でチャットに入力ください。座長が代表で質問し、概要を日本語で説明します。時間の都合で全ての質疑を行えない場合はご容赦ください。

連絡先
担当：広報・産業技術支援部門 日下
電話：082 (420) 0841
E-mail：info@nrrib.go.jp

講師紹介

Reinhold Kugel 博士 (BarthHaas GmbH & Co. KG)

ドイツ連邦共和国のホップ産地テトナング地方のホップ農場で生まれ育ち、同国シュトゥットガルト・ホーエンハイム大学で農業科学と経済学を学んだ。1988年から1990年まで、ドイツ政府職員としてフィリピンのミンダナオ島ダバオ市にある「フィリピン・ドイツ生物学的植物保護プロジェクト」に勤務。

1991年に、ドイツのホップ商社「バルトハース・グループ」に転職。同社の製品安全および品質管理の責任者として、テトナング地域の購買事務所を統括し、日本とフィリピンの顧客（ビール会社）を担当。2011年からは同社のサステナビリティ・チームのメンバーとして、2015年からはリーダーを務めている。

2005年から、ドイツホップ産業協会で残留農薬の国際的調和問題に取り組んでおり、当初から米国ホップ産業植物保護委員会（USHIPPC）と協調してきた。また、2012年に設立されたEUホップ商品専門家作業部会（CEG）のメンバーでもある。



Lee Galligan 氏 (John I. Haas, Inc.)

Florian Meyer-Günderoth 氏 (BarthHaas GmbH & Co. KG)

BarthHaas 社において、2012年に卸売及び国際流通に従事後、管理部門の責任者として、日本市場の輸送・顧客サービスを担当（経営管理学士）。

現在は、営業責任者として、ドイツ、オーストリア、スイスのすべての顧客を担当。

